

東南アジア調査研究第一年度計画  
(昭和38年度) 追加

I 東南アジアの生薬にかんする調査

(代表者：木村康一)

調査参加者

木村 康一 (京都大学薬学部教授・薬博・生薬学  
専攻)

糸川 秀治 (東京理科大学助教授・薬博・生薬学  
専攻)

加世田正道 (長野県松本保健所薬剤技師)

調査項目

1. 東南アジアにおける薬用資源調査
2. 東南アジアにおける薬学事情調査
3. 東南アジアにおける薬学教育事情調査

調査期間

京都出発：昭和38年12月7日

京都帰着：昭和39年2月7日

II タイの医学調査

調査参加者

浅山 亮二 (京都大学医学部教授・医博・眼科学  
専攻)

西尾 雅七 (京都大学医学部教授・医博・公衆衛  
生学専攻)

上野 一也 (京都大学医学部講師・医博・眼科学  
専攻)

調査項目

1. 医学調査のための資料収集

2. 公衆衛生に関する予備調査
3. 失明の原因調査およびその対策
4. 特にトラコーマの研究

調査期間

28日間 (昭和39年1月21日～2月17日)

京都出発：昭和39年1月17日

京都帰着：昭和39年2月18日

調査日程と地区

第一週：バンコック

シリラート病院：医科大学

チュラーロンコン大学附属病院, 陸軍病  
院, 警察病院

第二週：野外調査

第三週：バンコック

第四週：野外調査

III 東南アジアの水田土壌にかんする調査研究

調査参加者 川口桂三郎 (農学部教授・農博・  
土壌学専攻)

調査項目

1. ホンコン大学における水田土壌分類にかんす  
る討議
2. タイ国中央平原の水田土壌調査
3. マニラの国際稲作研究所における東南アジア  
の水田土壌にかんする討議

調査期間

京都発：昭和39年2月16日

京都着：昭和39年2月26日

国外からの訪問者

10月6日 Mrs. Kusum Nair, Journalist & Social Scientist, New Delhi, India.

11月6日 Mr. Sori Mangaradja Harahap, Student of Kyoto University.

12月2日 Dr. G. William Skinner, Professor of Anthropology & Asian Studies, Cornell  
University, Ithaca.

12月25日 Prof. Herbert Passin, Professor of Sociology & East Asian Inst., Columbia  
University, New York.

1月14日 Dankwart A. Rustow, Professor of International Social Forces, Columbia  
University.

1月28日 Prof. Oliver E. Clubb, Professor of Political Science & Southeast Asian  
Program, Syracuse University.